

HW I P 企画運営委員会 教務報告

● 1年

- HW セミナー：春の合宿（3日） + ラボローテ（1日 x 3）
 - 合宿は4月14-16日(金土日)に実施。ローテーションは7月から開始中
- 基礎論 I・II：特任座学（前期・後期、各金曜1コマ x 15）基礎ライティング含む
 - 今年度のIは学生 Feedback から学生発表にトライ → 変えて良かったと思っています。
- 領域基礎研究：ラボでの専門研究 + イノベーション入門
 - イノベ入門：Clic 産学講義 + 企業訪問 + イノベーションアプリケーション（座学2日+企業訪問1日）
 - 最初の講義は8月4日予定。
- 創出論：オムニバス講義（後期 金曜2コマ x 8）
 - 日程が仮決定。

● 2年

- 融合領域研究：ラボでの専門研究 + アウトリーチ
 - アウトリーチ：未来館座学と学内+市内駅構内/産学 OACIS での実践（座学1日+実践2日）
 - 最初の講義は本日7月6日これからの予定。

● 3年以降

- プロジェクト研究：融合研究に属する（グラントでPIを行うとPI研究の単位も追加）
 - 3年次。提案書を3人の特任で Review して点数を返却。
- 実践演習：参画企業による講義
 - 3年次。実施中。産連担当。
- インターン：国内3ヶ月以上、海外1.5ヶ月以上、ただし通勤期間は2/3でも良い。
 - 実施中。産連担当。

● 審査など

- 学生アドバイザー：8月ごろメンタリング、11月ごろ評価。
 - 新制度のための内部公開が決定。特に問題はない様子。
- GPI スキル診断：毎年秋に実施 → 増澤先生・首藤先生担当
- Pre-QE：1年次12月 → 選抜委員会担当
- R-QE：3年次1月 → 公聴会と同時。2018年1月23日に決定。
- 最終試験：公聴会は5年次1月（R-QE と同時） → 明日、早期生初実施。添付資料。

● その他

- 学生企画： → 今月特になし
- HW 教員セミナー： → 公募は常に Open
- 国際交流： → HW 生が阪大日米学生会議の副会長として UC 生 80 名の歓迎会で司会。
- 改善など： → 英語対応として創出論の代わりに UC 特別講義を採用中。

※ 講義の流れ

研究：領域基礎（1年）→融合領域（2年）→プロジェクト研究（3年）→PI研究（4年）

産業：入門（1前）→創出論（1後）→アウトリーチ（2年）→実践演習（3年）・インターン（3年）

※ 各カリキュラム説明やイベント詳細は HP 右上の履修生専用ページにあります。

<http://www.humanware.osaka-u.ac.jp/student-only/>

大阪大学 ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム

最終試験 公開研究発表会 審査結果の要旨及び担当者

氏 名 (藤 井 祥 平)		
最終試験担当者	所属・役職	氏 名
	主査 情報科学研究科 教授	渡辺 尚 (署名)
	副査 生命機能研究科 招へい教授 脳情報通信融合研究センター 脳情報通信融合研究室 室長	鈴木 隆文 (署名)
副査 日本電気株式会社 主任研究員	竹中 崇 (署名)	
最終試験の結果の要旨		
<p>平成29年7月7日に公開で発表会を開催し、上記の履修生に博士論文の内容について英語にて説明を行わせた。また分野を超えた融合研究の意義と結果およびイノベーションについて自身の考えを説明させた。これらの内容について質疑・討論を行った結果、本プログラムの求めるリーダーとしての資質が認められたため、合格と判定した。</p>		